「職務の級及び号給決定計算書」の記入例

（様式３）

管内（　　）　**職　務　の　級**

採用　　任用職名

令和　　年　　月　　日　採用　区分（人事担当課が○で囲む）正規・任期付（　　）・臨時的

ｼﾏ ﾊﾅｺ

※氏名　福島　花子　※性別　女　※生年月日　昭和（平成）　元年１１月２１日

※ 卒 業 学 校 名	※在学期間	※修学年数	※卒業修了中退の別
郡山市立安積第一小学校	自 H 8・ 4・ 1 至 H14・3・31	6・0	(卒)・修・退
郡山市立安積中学校	自 H14・4・ 1 至 H17・3・31	3・0	(卒)・修・退
福島県立安積高等学校	自 H17・4・ 1 至 H20・3・31	3・0	(卒)・修・退
福島大学　人間発達文化学類	自 H21・4・ 1 至 H25・3・31	4・0	(卒)・修・退
	自 至	・	卒・修・退

※勤務箇所及び職務内容等	※社会保険加入の有無	※在職期間	年数	換算率
無職（予備校在学）	有 無	自 H20・4・1 至 H21・3・31	.	
郡山商事㈲、正規採用、**週５日、１日８時間勤務**、職務内容（事務）	(有) 無	自 H25・4・ 1 至 H28・5・31	.	
全日本進学塾（個人）、臨時採用、**週４日、１日５時間勤務**、職務内容（講師）	有 (無)	自 H28・6・ 1 至 H29・3・31	.	
○○県立○○高等学校、非常勤講師（月手当）（初任研）、**週当たり４日勤務、授業担当時間数１６時間**	有 (無)	自 H29・4・ 1 至 H30・3・30	.	
無職	有 無	自 H30・3・31 至 H30・3・31	.	
○○県立○○高等学校、時間講師（初任研）、**週当たり４日勤務、週当たり１８時間勤務、授業担当時間数１４時間**	有 (無)	自 H30・4・ 1 至 H31・3・30	.	
無職	有 無	自 H31・3・31 至 R元・9・30	.	
○○県立○○高等学校、常勤講師（欠員補充）**（１－△号給）**	(有) 無	自 R元・10・1 至 R2・3・30	.	
無職	有 無	自 R2・3・31 至	.	

換算率　１０割　８割　５割　２．５割　計

給料

職給料　級　号給　年　月　年　月

備考

記入上の注意　１　太枠内（※印欄）のみ記入すること。　２　採用月日の前日までの職歴を記入すること。

※　上記のとおり相違ありません。

令和 元 年 ○ 月 ○ 日　氏名（自署）　福　島　花　子　印

※受験種別・教科　高等学校・数学　※受験番号　○○○○　※（　1　枚中　1　枚目）

注：網掛け部分は給与電算入力事項等（職員課・教育事務所記入欄）

採用CD	採用年月日	基準学歴	最終学歴 区分	卒業年月 年 月	職・格付	発令年月日
	・ ・				・	・ ・

昇給経過　1月　採用月　（　）/12×4　月　＝　号給　（標準の場合）　級　号給

民間会社等の場合、会社の形態、採用形態、週当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間数及び職務内容を記入する。

勤務歴がある場合、社会保険加入の有無に必ず○を付ける。

在職期間とずれが生じないように、入学、卒業年を正しく記入する。

大学中退の場合は、年度ごとに取得単位数を（ ）書きで記入する。

この間は勤務箇所及び職務内容等の欄に記入する。（例：無職（予備校在学））

非常勤講師（月手当）の場合、週当たり勤務日数及び授業担当時間数を記入する。
（授業を行わない非常勤職員は、職名及び週当たり勤務時間数を記入）

時間講師の場合、週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数及び授業担当時間数を記入する。

常勤講師の場合、級及び号給も記入する。

記入枚数について、○枚中○枚目を記入する。

受験種別（教科）及び受験番号を記入する。

署名及び押印する。